

市政アンケートに寄せられた みなさんの声を市政に生かします

日本共産党

前市議会議員(2期)・農業委員

藤木くにあき

(54歳)

庄原実業高校農業科卒、庄原市職員労働組合委員長・保育
所保護者連事務局長・庄原市PTA連合会会長などを歴任

藤木くにあきのお約束

ゴミ袋代金を引き下げ、新聞紙など 資源ゴミは無料定期収集を求めます

ゴミの指定袋が4月から3倍以上の35円(そのうち19円がゴミ処理費)に値上げされます。資源ゴミの新聞紙もこの袋に入れて出し、生ゴミと一緒に焼くという説明です。ゴミ処理は自治体の本来の仕事であり、住民から処理費を取るのとは税金の二重取りです。新聞紙を燃やすのは、ゴミの減量化にも、環境にも、資源の再利用にも反します。資源ゴミは無料の定期収集に改め、再利用するよう求めます。

産婦人科医の確保に全力をあげます

庄原赤十字病院の産婦人科医が退職になり、新庄原市で産婦人科医が一人もいなくなります。庄原市の年間の出産は約300人。産婦人科医の不在は深刻です。行政、議会、病院が力を合わせ、全力をあげて確保するよう働きかけます。

地産地消を広げ、地元農産物を 公共施設の給食に使います

学校給食に庄原産の一等米などを使って子どもにも生産者にも喜ばれています。病院、保育所などの給食に広がります。朝市(ゆめさくら)への出荷手数料に助成します。



地域経済の活性化へ 住宅リフォームの助成制度をめざします

個人住宅の修繕・改修の工事費の一部を行政が助成するのが住宅リフォーム助成制度。兵庫県明石市は4年間で約1千件、8千万円を助成し、16倍の13億円の仕事を生み出して地域経済に活力を与えています。県内でも三次市が昨年4月に導入しています。市民も業者も助かり、地域に活力を与える一石三鳥の事業です。



事業費74億円のケーブル テレビは凍結を求めます

多くのみなさんが「サービスや福祉の低下が進むのでは」と心配し、7割の人がケーブルテレビ事業は「凍結すべき」と考えています。福祉・くらしを優先します。

「道路のゴミ拾いに感心しています」

「学校行事で小学生にゴミ拾いをさせているが、ゴミを捨てるのは大人。子どもにそんな姿を見せてはいけない」と道路のゴミ拾いを続ける藤木さん。「いつも感心しています」と近所の人には言っています。



庄原民報

2005年4月 NO98 発行・日本共産党庄原市委員会 西本町1-4-10

日本共産党庄原市委員会の政策を紹介します。ご意見をお寄せ下さい。 電話 72-3366

合併によるサービスの後退は許さない

藤木くにあき



は福祉・くらしに全力投入

子どもの医療費無料化まもる

度重なる一部負担の導入計画をやめさせる

県が一部負担（一日500円、月最高入院料化（896万円）は道理に合わない」と指摘7千円、通院2千円）を導入したのにも、断念させました。合併協議会で有料化を決めようとしたが、日本共産党議員の奮闘などで反対が多数となり無料化を費補助金が年間910万円増えるのに、一部有守りました。

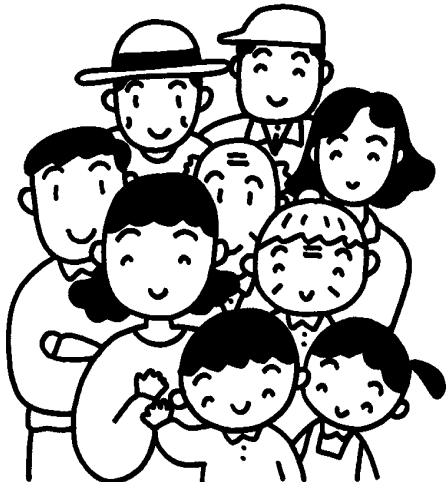
在宅介護手当の対象者削減もやめさせる



介護度4〜5の寝たきりのお年寄りを自宅で介護する人へ、慰労金として月5千円、年間6万円支給する制度実現に藤木議員は貢献しました。市が、合併を機会に対象者を3分の1に減らす（住民税非課税世帯に限る）ことを提案したのに対し、藤木議員は「弱者の視点に立つことが大切」と論陣を張り、月4千円に減額になりましたが、支給対象者を減らすことはやめさせました。

家庭ゴミの有料化も一部見直しに

4月から始まる家庭ごみの有料化は市民の大きな話題になっています。藤木議員は「高齢者世帯は生ゴミが少なく負担を軽減すべきだ」と要求。15円の小さな袋（普通は35円）が作られることになり、負担が少し軽減になりました。



変り大が
くらしが
なときだから

身近な相談相手として

7年間で190件の生活相談

市民からの相談に親身にこたえ、一つひとつ相談者の立場にたって解決している藤木さん。この7年間に約190件の相談があり、その7割を解決して相談者から喜ばれています。老人医療費の減額問題、訪問販売のクーリングオフ、就学援助、生活保護、サラ金、やみ金など相談は様々。法律や条例を調べ、専門家に相談し…。何事にも全力投球する藤木さんならではの活躍です。

7割の議案に賛成 市民の利益になるかどうか で判断しています

「何でも反対」という意見があります。確かに、市民の負担増やサービスの低下、税金のムダ使いなどには反対していますが、7割の議案には賛成しています。むしろ、市長の提案には「何でも賛成」という態度の方が、市民の利益に反する無責任な態度ではないでしょうか。

合併で問題が山積みの新庄原市だから

豊かな実績の日本共産党議員が必要です